

令和4年度社会福祉法人友和の里事業報告書

はじめに

令和4年度においても新型コロナウイルスの感染拡大は収まらず、特に7月から9月にかけての第7波においては、国内では過去最高の新規感染者数となり、友和の里入所部においてもクラスターが発生（8.9月利用者28名職員8名計36名感染）しました。中でも利用者においては、入所棟で生活されていた全員が感染し、多床部屋や狭い生活スペースでは、感染を防ぐことが極めて困難であり、設備の老朽化改修及び利用者のQOLの向上を含め入所棟の環境整備が必要となってきました。

かねてより課題となっている人材確保においては、7名（常勤2名非常勤5名）を採用しましたがいずれも補充採用です。福祉業界のみならず全ての業種において人材不足が懸念されており、新卒者等若年職員の採用が喫緊の課題となります。

利用者支援では、高齢重度化に加え強度行動障害を有する方々への支援が課題となっています。特に入所部で生活される同障害を有する利用者については、他利用者の安全かつ安心できる生活を守り、当該利用者の安定した生活を提供できる支援が求められます。しかし現状では、障がい特性によるニーズの違いが大きく、同一施設では支援の限界を感じております。厚労省の『強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会』の報告書によると、少人数であるグループホームは支援内容や生活環境を個別化しやすい、一人ひとりの特性に合わせやすいなど強度行動障害を有する者への支援に合っており、グループホームにおける受入れの体制整備を進めていくことが必要とありました。中長期計画にあるグループホームの整備については、強度行動障害を有する方々のグループホームを整備する等の見直しが求められます。

人材育成については、本年度も障害支援の専門家による強度行動障害を中心としたコンサルティングを実施。困難事例について検討し、現場での支援方針や支援方法の共有・統一を図りました。今後これらを現場の支援に根付かせるためには、障害特性を正しく理解し、根拠のある支援について、組織内で適切な指導助言ができる中核的人材の育成が必要となります。虐待防止の取組みについては、支援現場に即したマニュアルの作成、現場毎の研修、月1回の現場での振り返り及び月間目標の設定、セキュリティカメラの増設等を行いました。昨年度に引き続き虐待事案が発生しました。虐待を起こした職員については心身の状態が良好ではなかった面もあり、人権意識や職業倫理、専門性の向上に加え職員個々のメンタルヘルス等の維持についても重要な課題となります。

環境整備においては、作業棟とは別に日中活動棟を整備し就労B型事業開始のための準備をしましたが、同事業の本格稼働にあたってはトイレ、手洗い場の増設が必要となります。

遊歩道整備では、通所部保護者会よりご寄附をいただきトイレの設置、広場の拡張及び農園内への歩道延長ができました。野外支援及び地域交流活動への更なる活用に期待できます。行事等については、コロナ禍の制限がかかるなか可能な範囲での外出や施設外活動を徐々に再開し、移動店舗を利用し買い物するなど施設内でも楽しめるよう工夫しました。

I 法人経営

1 理事会・評議員会等（別紙資料1 参照）

法人役員等の会議は、理事会5回、評議員会4回、運営協議会1回を開催しております。

主な議案は、理事会では、定款並びに就業規則等諸規程の変更。評議員会においては、予算、事業計画、決算及び事業報告等の決議事項を審議・承認しました。運営協議会においては、決算・事業報告等及び施設の現状、課題を説明し、意見交換を行いました。

役員等に支給される報酬については、定款第22条の規定に基づき適正に支給しております。

2 財務状況

障害福祉サービス等事業収益の増額要因は、主にFHの定員満床利用による増額。また、重度障害者支援加算等の算定により、昨年度に引き続き過去最高額となりました。建設積立資産については、友和の里中長期計画に基づき、15,000千円の積立を執行し、令和4年度の建設積立資産は55,000千円となりました。

[過去5年間の手許資金残高及び事業収益の推移]

(単位：円)

年度	手許資金残高(支払資金残高+建設積立資産)	前年度比	備考
令和4年度	334,037,401	30,792,095	建設積立資産額55,000千円
令和3年度	303,245,306	24,811,520	建設積立資産額40,000千円
令和2年度	278,433,786	-41,684,416	FH整備 建設積立資産額4,500千円
令和元年度	320,118,202	45,204,361	建設積立資産額65,000千円
平成30年度	274,913,841	47,567,424	GH借入金含む 建設積立資産額45,000千円
年度	障害福祉サービス等事業収益	前年度比	備考
令和4年度	466,047,687	27,519,407	FH定員満床利用
令和3年度	438,528,280	27,886,725	FH事業開始
令和2年度	410,641,555	22,950,178	重度加算 通所配置加算
令和元年度	387,691,377	40,036,876	重度加算 処遇特定加算
平成30年度	347,654,501	34,499,543	GH事業開始

3 設備資金借入金償還

GH整備の資金として、平成30年4月独立行政法人福祉医療機構から借り入れた30,000千円について、償還計画通り償還しました。

FH整備の資金として、令和3年3月4日に同機構から借り入れた40,000千円について、2年の据置期間終了後、償還計画通り償還しました。(第1回償還日：令和5年2月10日)

- ・償還期間：20年 ・利率：年0.28% 10年後見直し ・最終償還期限：2038年3月10日 (GH)
- ・償還期間：20年 ・利率：年0.34% 10年後見直し ・最終償還期限：2041年2月10日 (FH)
- ・供出担保：GH、FH建物及び敷地
- ・令和4年度償還額：元金 1,952,000円 利息 201,715円
- ・令和4年度末借入金残高：62,240,000円 (GH22,680千円・FH39,560千円)

4 社会福祉充実残額

社会福祉充実残額の算定を行い、当該残額があれば、社会福祉充実計画を策定し、計画的かつ有効に再投下していくことが求められますが、本年度も社会福祉充実残額は生じておりません。

II 組織及び職員

1 職員採用・退職

○令和4年度採用

通 所 部	生活支援員 (常勤)	2名
通 所 部	生活支援員 (非常勤)	1名
入 所 部	作業支援員 (非常勤)	1名
共同生活援助事業所	世話人 (非常勤)	3名

○令和4年度退職

通 所 部	生活支援員 (常勤)	2名
通 所 部	生活支援員 (非常勤)	1名
通 所 部	運転手 (非常勤)	1名
入 所 部	生活支援員 (常勤)	1名
共同生活援助事業所	世話人 (非常勤)	3名

[部署別職員数]

(単位：人)

部 門	令和4年4月1日現在			令和5年4月1日現在		
	常勤	非常勤 (常勤換算)	合計 (常勤換算)	常勤	非常勤 (常勤換算)	合計 (常勤換算)
管理・事務	3	—	3 (3.0)	3	—	3 (3.0)
入 所 部	16	12 (7.4)	28 (23.4)	15	13 (8.15)	28 (23.15)
通 所 部	10	14 (9.92)	24 (19.92)	10	13 (9.17)	23 (19.17)
共同生活援助事業所	9	10 (4.37)	19 (13.37)	9	10 (3.7)	19 (12.7)
相談支援事業所	1	1 (1.0)	2 (2.0)	2	—	2 (2.0)
給食提供	4	8 (5.32)	12 (9.32)	4	8 (5.32)	12 (9.32)
合 計	43	45 (28.01)	88 (71.01)	43	44 (26.34)	87 (69.34)

2 職員処遇

職員処遇については、これまでの処遇改善手当に、福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金及び福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算を財源に、月額7,000円を加算し更なる給与改善を行いました。また、従来の福祉・介護職員処遇改善手当は、継続して改善分を本俸や時給の基本給に組み入れ支給し、当加算の対象全職員が昇給しております。

労働時間・休日については、各部署の管理者が日毎の出勤簿で労働時間を確認、有給休暇の5日以上の計画付与を実施し、過重労働にならないよう適切に管理しております。

健康診断では、希望者に、法定健診項目に加え、生活習慣病検査、胃カメラ、乳がん、子宮がん健診等を実施しております。また、メンタルチェックにおいては、産業医の指導によりストレスチェックを行っております。

3 人材育成

本年度も外部研修等の多くが感染対策のため、オンラインでの研修が中心となりました。(資料2参照)

支援困難な事例については、障害支援の専門家によるコンサルテーションを継続しており、通所部・入所部でそれぞれ2か月に1回行いました。

資格取得については、本年度も法人の資格取得助成制度を利用して、新たに職員2名が社会福祉士資格を取得、1名が精神保健福祉士を取得しております。

4 虐待防止に関する取組み

虐待防止マネージャー、サブマネージャー会議を月1回開催し、事業所内の適正な支援等について検討・改善を行いました。また、職員が多くの場合で活用できる虐待防止マニュアルを作成しました。

虐待防止研修については、虐待防止マネージャー及びサブマネージャーが、広島県障害者虐待防止・権利擁護研修を受講し、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」の基礎的な知識を習得しました。

障害者虐待の未然の防止及び虐待が発生した際の早期発見、迅速な対応を行うため、虐待防止マネージャー及びサブマネージャーが中心となり、各事業所で虐待防止研修を実施し、職員の資質向上への取組みを行いました。2月に虐待事案が起きたことを踏まえ、研修内容をより実践的なものにするなど、支援現場で活かせるよう取組みました。

Ⅲ 施設運営

1 利用定員

各事業所定員は次のとおりです。

(1) 入 所 部	施設入所支援	32名
	生活介護	40名
	短期入所	4名
(2) 通 所 部	生活介護	50名
(3) グループホームゆうわ	共同生活援助	7名
	短期入所	2名
(4) フレンドホームゆうわ	共同生活援助	10名 (日中サービス支援型)
	短期入所	1名

2 事業所運営

(1) 入所部(障害者支援施設)

①施設入所支援・生活介護

障害特性に対する専門性向上のため、専門家によるコンサルテーションの実施、担当者会議を多く設けることで個別化した支援に取り組みました。また、職員による個々の支援の違いを無くすため、日々の情報伝達やデータを基に職員で共有を行いました。個別のニーズから環境の構造化を行いました。活用できるスペースも少なく課題が残りました。機能低下防止のため、遊歩道を利用しウォーキングや室内運動に取り組みましたが、季節・天候により運動量にばらつきがある事や、利用者が出来る運動内容に課題が残りました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和5年2月まで生活介護の利用を施設入所者のみに制限させていただきました。施設入所者以外の利用者については、居宅等での様子や体調面を電話にて確認するなどの支援をしました。

[活動の様子]



新型コロナウイルス感染対策として外出を控えていましたが、3年ぶりに日帰り旅行を企画してプリンスホテルで景色や食事などを楽しんでいただきました。月1回のレクリエーションや納涼花火大会を企画しました。個々のニーズに合った外出

支援に課題が残りました。



8月に利用者、職員共に新型コロナウイルスに感染しクラスターとなりました。症状は軽症で、施設内療養、自宅療養で済みました。あらかじめ、クラスターを想定して準備をしてきて活用できた事や、入所部では限られたスペースの中で共同して療養しなければいけない事や、利用者の方には大変不便で配慮に欠ける事が多くありました。今後は出来るだけ快適に過ごしていただける様に支援に努めます。また、通所部を4日休所し通所棟も入所利用者の生活の場として活用させていただき通所利用者やご家族にご迷惑をお掛けしました。

②短期入所

新型コロナウイルス感染防止の為、緊急性がある方以外は、短期入所の受入れを中止しました。

③個別支援計画

サービス提供の基本となる個別支援計画について、利用者や家族の要望を踏まえ、アセスメントやモニタリングなどを生活支援員、栄養士、看護師、サービス管理責任者や個々の状況に合わせて関係者の参加が必要と思われる方には関係者に同席してもらい会議を行い、サービス管理責任者が作成しました。聞き取りは保護者への電話や面談で行いました。

[年間サービス利用状況]

年度	生活介護 (定員 40 名)		施設入所支援 (定員 32 名)		短期入所 定員 4 名 (空床利用可)	
	契約数 (年度末)	延べ利用 者数	契約数 (年度末)	延べ利用 者数	契約数 (年度末)	延べ利用 者数
令和 4 年	67	10,860	32	11,239	67	739
令和 3 年	67	10,190	31	10,940	67	996
対前年比	0	670	1	299	0	-257

(2) 通所部（障害福祉サービス）

①生活介護

生活介護の充実を図るため、利用者一人ひとりのニーズや要望を踏まえ、自己決定を基本とした作業班及びクラブ活動班の編成、主体的に活動できる環境の構造化を行いました。利用者一人ひとりの障害特性に合わせた支援方法や職員のスキルアップ、統一した支援などに取り組み、支援手順書・利用者台帳等を作成し、職員間の情報共有による統一した支援が行えるようにしました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため年間を通してイベントの中止や制限を行いました。日々の生活の中では、室内換気、こまめな手洗いの実施、アルコール消毒の実施、マスクの着用など感染防止に努めました。そのような状況の中で、8月末、入所部での新型コロナウイルス感染拡大により、通所部スペースを入所部で感染していない人の生活の場として使用するため臨時休所とし、その後10日間ほど、友和市民センターなどを使用した活動を行いました。

昨年度に続き、2月に虐待事案が発生し、再発防止を講じて支援にあたっていた中で、利用者や保護者に更なる不安を与えてしまいました。

[年間サービス利用状況]

年度	生活介護(定員50名)	
	契約者数(年度末)	延べ利用者数
令和4年	49	8,727
令和3年	57	8,940
対前年比	-8	-213

[年間コンサル状況]

6月22日 日中活動の現状確認	12月15日 ケース検討、進捗状況報告
8月18日 ケース検討	2月25日 まとめ
10月20日 ケース検討、進捗状況報告	

②日中活動

日中活動は、4つの作業班を編成し、利用者一人ひとりのニーズや要望を踏まえ、作業を通して達成感を感じることを目標に支援を行いました。利用者一人ひとりが必要意欲を持って作業に参加できるよう、作業工程の見直しや構造化を取り入れました。また、日中活動を充実させるため、「運動の日」（毎週木曜日）を設け、遊歩道を活用した健康づくりを実施しました。その他の活動として、佐伯国際アーチェリーランドのご厚意で施設を使用させていただき、アーチェリーを体験することができました。

クラブは、「かめのこ」・「てづくり」・「スポーツ」・「カラオケ」の4クラブを編成し、毎週火曜日に行いました。利用者一人ひとりのニーズを実現できるように所属するクラブ選択を利用者自身に行ってもらいました。

日中活動の作業収益は、利用者個々の出席状況と作業量(貝通し、ゴム入れ)に応じて、毎月工賃として支給しました。年間支給額 1,848,882 円です。一人あたりの年間工賃は、1,000 円～85,923 円(平均 24,651 円)です。作業意欲の向上を図るため出来高制を導入し、工賃アップを目指しました。

作業収益と工賃年間支給額の差額は次年度以降の設備整備と工賃支給に充てます。

[活動の様子]



[令和4年度各作業内容]

作業班	活動内容	職員	利用者	作業収益
貝通し作業	貝通し作業、貝納品	5	13	1,813,130 円
陶芸班	陶芸作品作成、販売	2	6	130,600 円
療育班	缶つぶし作業	6	24	29,424 円
	ゴム入れ作業			
	自立課題、ウォーキング			
創作班	ゴム入れ作業、農園、ウエス作業	2	5	177,470 円
合計		15	49	2,150,624 円

[令和4年度各クラブ内容]

クラブ	活動内容	職員	利用者
かめのこ	ちぎり絵カレンダー	2	4
てづくり	手作り和紙、創作活動	2	5
カラオケ	カラオケ	4	2 3
スポーツ	運動	4	1 7
合 計		1 2	4 9

③個別支援計画について

サービス利用提供の基本となる個別支援計画について、利用者や家族の要望を踏まえアセスメントやモニタリングを行い、計画作成しました。

令和4年5月に個別支援計画面談を行い、令和4年11月にモニタリングを行いました。新型コロナウイルス感染防止のため電話での聞き取りが中心となりました。

(3) グループホームゆうわ（共同生活援助・短期入所）

利用者・保護者からの希望や要望、職員・世話人から日々の様子や相談内容を共同生活援助事業所会議・モニタリング会議などで情報共有し、その人らしく過ごせる個別支援計画の作成を行い、利用者・保護者に面談にて個別支援計画の説明を行いました。個別支援計画に基づいて適正なサービスの提供に努めました。

余暇活動での外出については、利用者の希望を聞き取りながら、感染対策として屋外での余暇活動を中心に行いました。社会参加として6月より移動スーパーの利用を開始しました。日用品や嗜好品を利用者自身で選択することで、生活の質を高めることに努めました。

12月に2名の利用者が新型コロナウイルス感染症に罹患しましたが、事前に感染対策として西部保健所による感染対策研修を実施しており、研修で学んだことを実施することにより感染が拡大することなく終息しました。短期入所では長期利用者がいたことにより利用数が増加しました。

[活動の様子]



[年間サービス利用状況]

年度	共同生活援助 定員 7 名		短期入所 定員 2 名	
	契約者数 (年度末)	延べ利用者数	契約者数 (年度末)	延べ利用者数
令和 4 年	7	2, 5 2 1	1 4	2 8 8
令和 3 年	7	2, 5 0 7	1 1	1 7 5
対前年比	0	1 4	3	1 1 3

(4) フレンドホームゆうわ (共同生活援助・短期入所)

利用者・保護者からの希望や要望を聞き取り、利用者の思いが生活に反映されるよう、職員間で障害特性や健康面に留意しながら協議し、アセスメントを定期的に更新し個別支援計画を作成しました。また、個別支援計画を職員間で共有し、充実した生活を過ごせるよう支援しました。

新型コロナウイルス感染対策として屋内での活動では密になることを避けて活動をしました。建物周辺でウォーキング、ウッドワン美術館での美術鑑賞、中庭でミニトマトの栽培、年度末食事会を行いました。3月より生活介護の利用を再開しました。事前に通所部・入所部とアセスメントの共有をしていたことでコロナ禍以前の生活リズムにスムーズに移行できました。短期入所では環境整備を行いました。利用実績はありませんでした。

[活動の様子]



[年間サービス利用状況]

年度	共同生活援助 定員 1 0 名		短期入所 定員 1 名	
	契約者数 (年度末)	延べ利用者数	契約者数 (年度末)	延べ利用者数
令和 4 年	1 0	3, 2 3 6	2	0
令和 3 年	1 0	2, 3 2 8	2	1 3
対前年比	0	9 0 8	0	- 1 3

(5) 特定相談支援事業所

令和 4 年度は、常勤の主任相談支援専門員 1 名と相談支援専門員 1 名の 2 名体制で、1 1 2 名の方の相談支援サービスを提供しました。新規契約は 2 3 名 (成人 9、児童 1 4) で、その中でも相談支援専門員の高い専門性が求められる要医療児者 6 名の相談支援サービスも提供しています。

また、災害対策基本法の改正により、高齢者や障害者等の避難行動要支援者につい

て、円滑かつ迅速な避難を図る観点から個別避難計画を作成することが市町村の努力義務となったことに伴い、福祉専門職の立場として計画作成に参画しています。

ネットワークの構築に関しては、広島県知的障害者福祉協会相談支援部会、はつかいち福祉ねっと相談支援部会・知的障がい者部会、大竹市自立支援協議会事業所部会・発達障害部会等に積極的に参加し、関係者との情報交換や課題の共有等をしております。

[計画相談支援提供件数]

年度	サービス利用支援		継続サービス利用支援	
	年間提供数	備考	年間提供数	備考
令和4年	66	うち児童22	251	うち児童41
令和3年	80	うち児童7	187	うち児童17
対前年比	-14	15	64	24

3 食事提供

食事メニューは、栄養士が栄養バランスと利用者の身体状況に配慮しながら、季節食や行事食など、多彩な食事提供に努めました。季節食・行事食については、食事の内容だけでなく、献立カードや箸袋などを作成し雰囲気作りも行いました。

摂取カロリーの目安は、一般成人の1,800kcal~2,200kcalとしています。さらに過栄養・低栄養の利用者には、個別で対応しています(1,200kcal~2,300kcal)。

咀嚼機能や嚥下機能が低下した利用者には「刻み食」「とろみ食」を、食物アレルギーのある利用者には、「除去食」「代替食」を提供するなどの個別対応をしました。一人ひとりの栄養改善や食生活の質の向上を推進させるために、主障害だけでなく、有している障害・疾病に配慮し、多職種と情報共有をして、入所利用者に対して栄養ケア・マネジメントを実施し、食事内容の変更等も行っていきます。

○年間総調理数 55,536食

「刻み食」「とろみ食」「除去・代替食」対応者数(令和5年3月末現在)

区分	入所部	通所部	グループホーム フレンドホーム	計
刻み食	14	9	9	32
とろみ食	3	0	1	4
除去食・代替食	11	2	1	14
計	28	11	11	50

「食物アレルギー」対応者数(令和5年3月末現在)

区分	乳製品	卵(生卵)	エビ	カニ	そば	落花生
対象者 (実数7名)	4	1	1	1	2	1
	小麦	鯖	バナナ	タケノコ	その他	
	0	1	1	1	5	

「行事食」



4 健康管理

利用者の健康管理や生活習慣病の早期発見・治療に繋げるため、年2回の定期健康診断(通所部・共同生活援助の利用者は希望者のみ)をしました。また、新型コロナウイルス感染対策として衛生委員会や防護服着脱研修、外部講師として認定看護師による感染対策研修などを行いました。しかし、職員の周囲でも感染が広がり濃厚接触者となり出勤できない事も増えていきました。

入所部の新型コロナウイルス感染者数は、8月19日～9月9日療養終了日間で、利用者34名(短期入所2名)中28名、職員30名中8名で、グループホームゆうわは、12月20日～12月31日療養終了日間で、利用者2名でした。重症化や入院加療などの心配がありましたが、発熱や咳等、軽症の方がほとんどで、施設療養や自宅療養で回復されました。

5 安全対策

利用者が安全で安心してサービスを利用できるよう、事故防止・リスク管理を行うとともに、職員の安全意識の高揚に努めました。

- ・火災避難訓練の実施(年2回)
- ・夜間を想定した火災避難訓練の実施(年1回) 入所部
- ・土砂災害時を想定した避難訓練の実施(年1回)
- ・大雨洪水警報発令時の人員体制の強化(夜間3人体制) 入所部
- ・安全運転講習会受講及び交通安全週間における啓発活動

6 行事等

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた行事のほとんどが実施できない状況でした。人数制限や屋外での実施など工夫し行ったものもありますが、外部の各種イベントも中止となり、令和4年度も利用者の皆さんにとって、楽しみの少ない一年でした。

7 広報広聴

法人情報や施設情報などは、毎月1回発行する『友和だより(約250部発行)』や『ホームページ』で発信しました。コロナ禍の一年ではありましたが、自然の魅力や施設の出来事などをタイムリーにお知らせしました。

8 地域交流及び貢献等への取組み

令和4年度は、地域交流及び地域福祉、地域活動の推進と支援、文化・芸術活動等を中心として、次のとおり取組みました。

○友和だよりに記事「ちょっと地域と」を追加

取材を通じて、地域事業所などに友和の里についての情報を提供しながら地域の情報やニーズを把握しました。

[令和4年度に取材した事業所等]

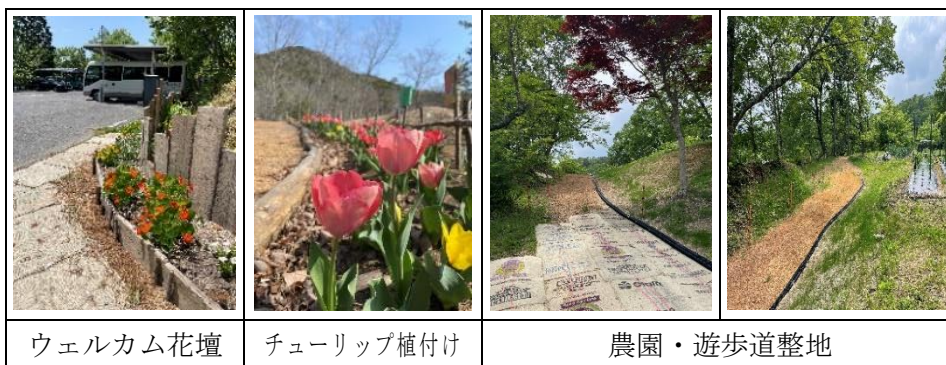
- ・河津原神楽団（10月号掲載）
- ・小西果樹園（9月号掲載）
- ・佐伯国際アーチェリーランド（11、12月号掲載）
- ・眞田ライディングクラブ（1月号掲載）
- ・WOODPRO（2月号掲載）
- ・田原農園（4月号掲載）

○遊歩道と屋外空間の整備

来客者や利用者、家族に遊歩道を親しんでもらえるような植栽、地域の人が利用しやすい雰囲気作りと持続可能な環境管理を行いました。

[取組みの内容]

- ・チューリップの球根250球を利用者と植付け
- ・取材を通じて、繋がりのできた事業所から提供していただいた廃材や材料を使用したウェルカム花壇を玄関と遊歩道広場に作成
- ・農園と遊歩道をつなげ、より利用しやすく整地



○広島県知的障害者福祉協会文化芸術活動の部圏域委員会参加

企画展等へ利用者作品を出展しました。



○コミュニティハウスの地域への貸出

月1回開催されるリフレッシュカフェ（認知症カフェ）の場としてコミュニティハウスを貸出し、地域福祉・地域活動の推進と支援を行いました。



○サイキ・コレクション実行員会主催事業「さいき文化センター多世代交流事業」の取材サポート

佐伯地域で暮らす方を取材し、廿日市市の地域支援員と連携して、地域の魅力やこれからについて意見交換や情報共有することができました。

IV 環境整備

1 施設整備等

(1) 車両運搬具取得

・車両（ダンプトラック）整備 600,000円

(2) 器具及び備品取得

・遊歩道便所整備 5,522,000円
・通所部セキュリティカメラ20台整備 3,388,000円
・相談支援事業所備品（椅子、PC、電話機）整備 1,776,500円
・入所部セキュリティカメラ2台整備 591,800円
・GHゆうわ業務用衣類乾燥機整備 419,980円
・入所部空気清浄機整備 264,258円
・通所部PC整備 187,000円

2 修繕

(1) 入所棟

・食堂床貼替、扉取替工事 2,577,300円
・1階通路扉取付工事 720,500円
・防火シャッター取替工事 590,700円
・換気扇取替工事 308,000円

(2) 通所棟

・男子便所改修工事 1,834,800円
・リラックスルーム改修工事 683,100円
・陶芸室改修工事 489,500円

(3) 共同生活援助事業所

・冊事務所コンセント・ケーブル等移設工事 372,900円

(4) 給食調理棟

・配膳室空調改修工事 239,800円
・食洗器、給湯器修繕 158,246円

令和4年度 理事会開催状況

	開催年月日	議 案 等
第1回	令和4年5月10日 10:30~11:30 コミュニティーハウス 理事 5/6 監事 2/2	議案審議 議案第1号 友和の里通所部利用者虐待事案の件
第2回	令和4年6月6日 10:30~12:00 コミュニティーハウス 理事 6/6 監事 2/2	報告事項 ア 前回の議事録概要について イ 理事長・業務執行理事の職務執行状況の報告について 議案審議 議案第2号 令和3年度事業報告及び計算書類並びにこれらの附属明細書及び財産目録の承認の件 議案第3号 定款一部変更の件 議案第4号 評議員会の招集の決定の件
第3回	令和4年9月20日 10:30~12:00 コミュニティーハウス 理事 5/6 監事 2/2	報告事項 ア 前回の議事録概要について イ 友和の里入所部新型コロナウイルス感染症発生状況について 議案審議 議案第5号 通所部生活介護種別変更の件 議案第6号 第1次補正予算案の承認の件 議案第7号 遊歩道便所新設工事に係る契約締結方法等の件 議案第8号 職員給与規程の一部改正の件 議案第9号 評議員会の招集の決定の件
第4回	令和4年12月7日 10:30~12:00 コミュニティーハウス 理事 6/6 監事 2/2	報告事項 ア 前回の議事録概要について イ 理事長・業務執行理事の職務執行状況の報告について ウ 監事監査の結果について 議案審議 議案第10号 指定就労継続支援B型事業所友和の里通所部運営規程の制定の件 議案第11号 第2次補正予算案の承認の件 議案第12号 評議員会の招集の決定の件
第5回	令和5年3月9日 10:30~12:00 コミュニティーハウス 理事 6/6 監事 2/2	報告事項 ア 前回の議事録概要について イ 友和の里通所部利用者虐待事案について 議案審議 議案第13号 第3次補正予算案の承認の件 議案第14号 令和5年度事業計画書及び資金収支予算書の承認の件 議案第15号 友和の里通所部運営規程の全部改正の件 議案第16号 就業規則の一部改正の件 議案第17号 評議員会の招集の決定の件

令和4年度 評議員会開催状況

	開催年月日	議 案 等
第1回	令和4年6月21日 10:00~11:30 コミュニティーハウス 評議員 7/7 理事 2/6 監事 2/2	報告事項 ア 前回の議事録概要について イ 友和の里通所部虐待事案の件 議案審議 議案第1号 令和3年度事業報告及び計算書類並びにこれらの附属明細書及び財産目録の承認の件 議案第2号 定款一部変更の件
第2回	令和4年9月28日 10:30~11:30 コミュニティーハウス 評議員 7/7 理事 2/6	報告事項 ア 前回の議事録概要について イ 友和の里入所部新型コロナウイルス感染症発生状況について 議案審議 議案第3号 第1次補正予算案の承認の件
第3回	令和4年12月15日 10:30~11:30 コミュニティーハウス 評議員 6/7 理事 2/6 監事 2/2	報告事項 ア 前回の議事録概要について イ 監事監査の結果について 議案審議 議案第4号 第2次補正予算案の承認の件
第4回	令和5年3月17日 10:30~12:00 コミュニティーハウス 評議員 6/7 理事 2/2	報告事項 ア 前回の議事録概要について イ 友和の里通所部利用者虐待事案について 議案審議 議案第5号 第3次補正予算案の承認の件 議案第6号 令和5年度事業計画書及び収支予算書の承認の件

令和4年度 監事監査開催状況

	開催年月日	議 案 等
決算監査	令和4年5月23日 10:00~13:00 友和の里事務所 監事 2/2	監査内容 1 業務監査 2 会計監査
中間監査	令和4年10月24日 10:00~13:00 友和の里事務所 監事 2/2	監査内容 1 業務監査 2 会計監査

令和4年度 運営協議会開催状況

	開催年月日	議 案 等
第1回	令和4年7月6日 10:30~11:30 コミュニティーハウス 運営協議会委員 4/4 理事 2/2	報告事項 友和の里通所部虐待事案の件 議 題 1 令和3年度事業報告及び決算書類について

令和4年度 職員研修受講一覧表

日 程	研修名	主 催	会 場
R4. 4. 18	令和4年度 入所部内予防疫着脱研修	県保健事業（西部保健所経由）	友和の里入所部
R4. 6. 1～R5. 1. 31	令和4年度 社会福祉施設長資格認定講習課程	中央福祉学院	アオス湘南
R4. 6. 14	(改めて) ガン症について、学びませんか。	広島県知的障害者福祉協会	ワラビ研修
R4. 6. 29～30	令和4年度 広島県相談支援従事者初任者研修	広島県 尾道さつき会	ワラビ研修
R4. 7. 1～R5. 2. 28	新型コロナウイルス感染症対応看護師職員養成事業	広島県 医療介護基盤課	ワラビ研修
R4. 7. 5～6	令和4年度 広島県相談支援従事者初任者研修①②	広島県 尾道さつき会	ワラビ研修
R4. 7. 15～8. 5	令和4年度 感染予防研修	広島県社会福祉協議会	ワラビ研修
R4. 8. 22	令和4年度 精神保健福祉関係職員研修（発達障害）	広島県西部保健所 保健課	ワラビ研修
R4. 8. 30～31	令和4年度 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	広島県 発達障害者支援センター	ワラビ研修
R4. 9. 13	令和4年度 広島県相談支援従事者初任者研修③	広島県 尾道さつき会	ワラビ研修
R4. 10. 20～21	令和4年度 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	広島県 発達障害者支援センター	ワラビ研修
R4. 10. 20～21	令和4年度 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	広島県 発達障害者支援センター	ワラビ研修
R4. 10. 20～21	令和4年度 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	広島県 発達障害者支援センター	ワラビ研修
R4. 10. 21	令和4年度 非常食を食べる研修	友和の里入所部	友和の里入所部
R4. 10. 25	令和4年度 嘔吐物処理実践研修	友和の里通所部	通所部
R4. 10. 26	第8回 保健衛生・給食担当職員研修会	広島県知的障害者福祉協会	ワラビ研修
R4. 10. 26	第8回 保健衛生・給食担当職員研修会	広島県知的障害者福祉協会	ワラビ研修
R4. 10. 27～28	令和4年度 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	広島県知的障害者福祉協会	ワラビ研修
R4. 10. 27～28	令和4年度 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	広島県知的障害者福祉協会	ワラビ研修
R4. 10. 27～28	令和4年度 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	広島県知的障害者福祉協会	ワラビ研修
R4. 10. 28	令和4年度 中堅リーダー職員研修①	廿日市市社会福祉協議会	あいづラサ
R4. 10. 28～11. 22	令和4年度 嘔吐物処理研修	友和の里入所部	入所部食堂
R4. 11. 1～2, 8～9	PECSレベル1ワークショップ	ピラミッド教育ソサエティジャパン	ワラビ研修
R4. 11. 15～16	令和4年度 広島県相談支援従事者初任者研修④⑤	広島県 尾道さつき会	ワラビ研修
R4. 11. 18	令和4年度 中堅リーダー職員研修②	廿日市市社会福祉協議会	あいづラサ
R4. 11. 21～R4. 12. 5	令和4年度 看取り研修	広島県社会福祉協議会	ワラビ研修
R4. 11. 21～R4. 12. 5	令和4年度 看取り研修	広島県社会福祉協議会	ワラビ研修
R4. 11. 21～R4. 12. 5	令和4年度 看取り研修	広島県社会福祉協議会	ワラビ研修
R4. 11. 21～R4. 12. 5	令和4年度 看取り研修	広島県社会福祉協議会	ワラビ研修
R4. 11. 21～R4. 12. 5	令和4年度 看取り研修	広島県社会福祉協議会	ワラビ研修
R4. 11. 21～R4. 12. 5	令和4年度 看取り研修	広島県社会福祉協議会	ワラビ研修
R4. 11. 21～R4. 12. 5	令和4年度 看取り研修	広島県社会福祉協議会	ワラビ研修
R4. 11. 21～R4. 12. 5	令和4年度 看取り研修	広島県社会福祉協議会	ワラビ研修
R4. 11. 21～R4. 12. 5	令和4年度 看取り研修	広島県社会福祉協議会	ワラビ研修
R4. 11. 21～R4. 12. 5	令和4年度 看取り研修	広島県社会福祉協議会	ワラビ研修
R4. 11. 24～25	令和4年度 広島県発達障害支援スキルアップ研修	広島県 障害者支援課	ワラビ研修
R4. 11. 29	令和4年度 中堅リーダー職員研修③	廿日市市社会福祉協議会	あいづラサ
R4. 12. 13	令和4年度 コロナウイルス感染症対策研修	県保健事業（西部保健所経由）	GHゆうわ
R5. 1. 4～31	令和4年度 広島県障害者虐待防止・権利擁護研修	広島県 障害者支援課	ワラビ研修
R5. 1. 4～31	令和4年度 広島県障害者虐待防止・権利擁護研修	広島県 障害者支援課	ワラビ研修
R5. 1. 4～31	令和4年度 広島県障害者虐待防止・権利擁護研修	広島県 障害者支援課	ワラビ研修
R5. 1. 10～12	令和4年度 広島県主任相談支援専門員養成研修①	広島県 尾道さつき会	ワラビ研修
R5. 1. 24～25	令和4年度 広島県主任相談支援専門員養成研修②	広島県 尾道さつき会	ワラビ研修
R5. 1. 31	令和4年度 強度行動障害支援者養成研修フォローアップ研修	広島県知的障害者福祉協会	ワラビ研修
R5. 2. 3	令和4年度 精神障害者地域生活支援関係者研修会	広島県精神障害者支援事業所連絡会	広島県西部保健所
R5. 2. 5	令和4年度 きらっと光人生を考える研究大会	広島県知的障害者福祉協会	広島市東区地域福祉センター
R5. 2. 9	令和4年度 虐待防止研修	友和の里入所部	入所部食堂
R5. 2. 11	令和4年度 虐待防止研修	友和の里通所部	通所部職員室
R5. 2. 13	令和4年度 社会福祉法人会計実務者決算講座	全国社会福祉法人経営者協議会	ワラビ研修
R5. 2. 13	令和4年度 社会福祉法人会計実務者決算講座	全国社会福祉法人経営者協議会	ワラビ研修
R5. 2. 24	令和4年度 福祉専門職等を対象とする個別避難計画策定研修	広島県 障害者支援課	ワラビ研修
R5. 2. 24	令和4年度 福祉専門職等を対象とする個別避難計画策定研修	広島県 障害者支援課	ワラビ研修
R5. 3. 1～17	国立のぞみの園むけ「食と口腔衛生」	国立のぞみの園	ワラビ研修
R5. 3. 1～17	国立のぞみの園セミナー「知的障害者の認知症診断基準・早期発見・支援」	国立のぞみの園	ワラビ研修
R5. 3. 10	令和4年度 AED講習	友和の里入所部	入所部食堂
R5. 3. 11～12	令和4年度 精神障害者の障害特性と支援技法を学ぶ研修	広島県精神障害者支援事業所連絡会	ワラビ研修
R5. 3. 14	令和4年度 虐待防止研修	グループホームゆうわ	GHゆうわ食堂

令和4年度 年間行事実施状況表

月	日	行事名	実施部署	実施場所
4	3	お花見	G H	共同生活援助事業所
			F H	
	16	開所日(クリーンウォーキング)	通所部	友和の里
	20	スタンプラリーウォーキング	入所部	友和の里
5	2	新緑ドライブ	入所部	友和の里～弥栄ダム
	3	BBQ	G H	共同生活援助事業所
			F H	
	18	鯉のぼりを作ろう	入所部	友和の里
21	開所日(こいのぼりを作ろう)	通所部	友和の里	
6	15	ジェラートを食べに行こう	入所部	湯来町
7	7	七夕会	入所部	友和の里
	16	開所日(レクリエーション)	通所部	友和の里
	20	ソフトクリームを食べに行こう	入所部	湯来町
	25	美術鑑賞	通所部	ウッドワン美術館
8	12	花火を見ながら涼んでいただく	入所部	友和の里
	17	うちわ作り	入所部	友和の里
	20	開所日(水で夏を楽しむ)	通所部	友和の里
9	12	美術鑑賞	F H	ウッドワン美術館
	17	開所日(遊歩道散策)	通所部	友和の里
	21	月まで届け秋のフリスビー大会	入所部	友和の里
	22	釣り堀	G H	万古溪養魚観光センター
10	19	ハロウィンのカボチャを作ろう	入所部	友和の里
	15	開所日(秋の壁飾り作り)	通所部	友和の里
11	16	秋の川ドライブ	入所部	友和の里～浅原
	19	秋を楽しむ会	全体	友和の里
	30	日帰り旅行(プリンスホテル)	入所部	宇品
12	8	冬祭り	G H	共同生活援助事業所
			F H	
	17	開所日(クリスマス会)	通所部	友和の里
	21	クリスマス会	入所部	友和の里
1	10	新年会	入所部	友和の里
	10	新年会	通所部	友和の里
	21	開所日(レクリエーション・ドライブ)	通所部	友和の里・蛇喰磐
2	15	鬼のお面を作ろう	入所部	友和の里
	18	開所日(バレンタイン)	通所部	友和の里
3	8	GHゆうわ年度末食事会	G H	びっくりドンキー宇品店
	15	ひな祭り	入所部	友和の里
	15	FHゆうわ年度末食事会	F H	わたや峠店
	18	開所日(クリーンウォーキング)	通所部	友和の里